



オタクの女友達と  
一線越えた話

漫画31p



# 目次

1p — 表紙

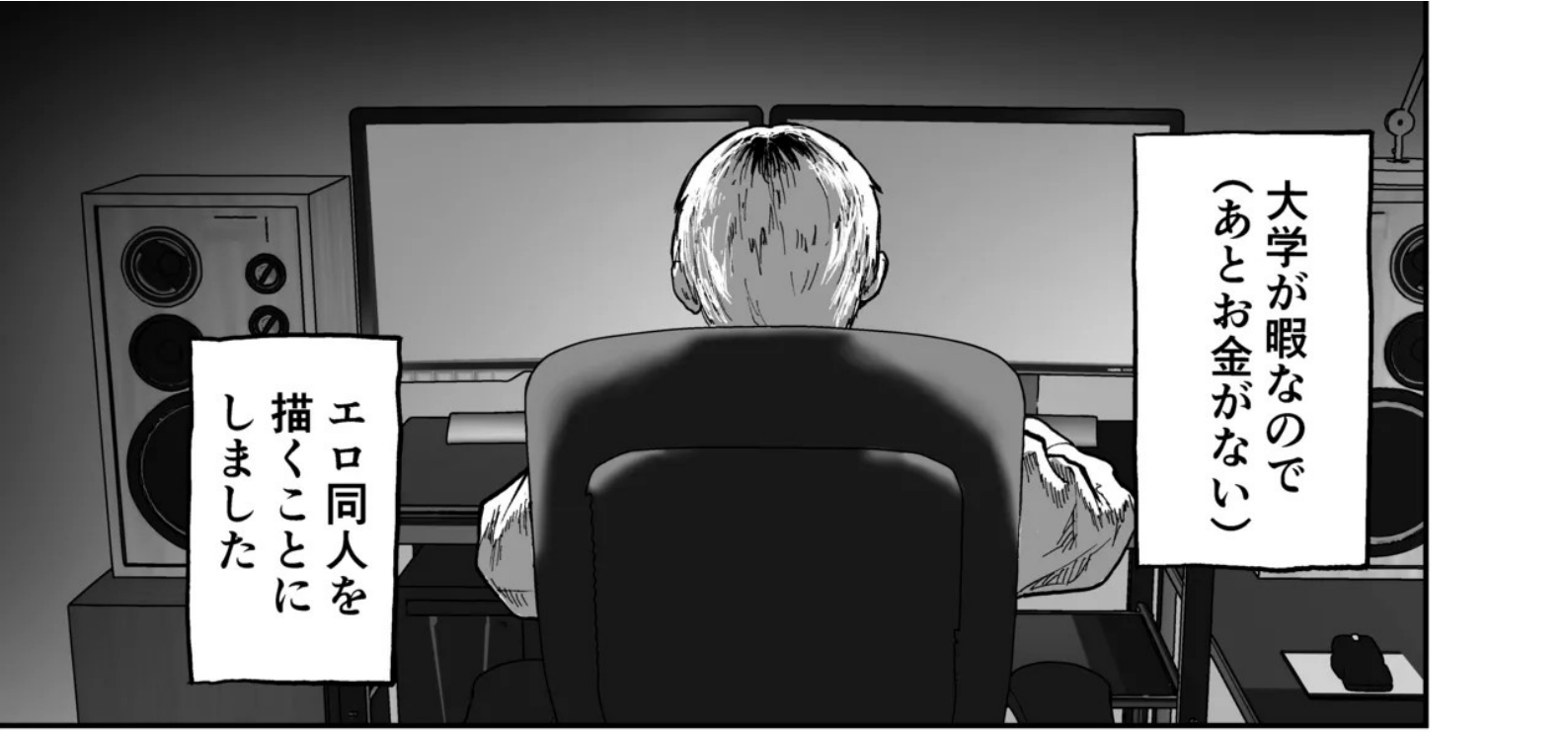
2p — 目次

3p — 本編

34 p — おまけ

35 p — 後書き

36 p — 裏表紙



大学が暇なので  
(あとお金がない)


エロ同人を  
描くことに  
しました



が

上手くネタが  
浮かばないので

7年前の  
思い出を  
描きます



当時の私は思春期  
特有の拗らせで

異性と上手く  
話せなくなっ  
ていました



それだけで  
なく



同世代の  
人達に対して



通りすぎる  
幸せそうな



佐藤

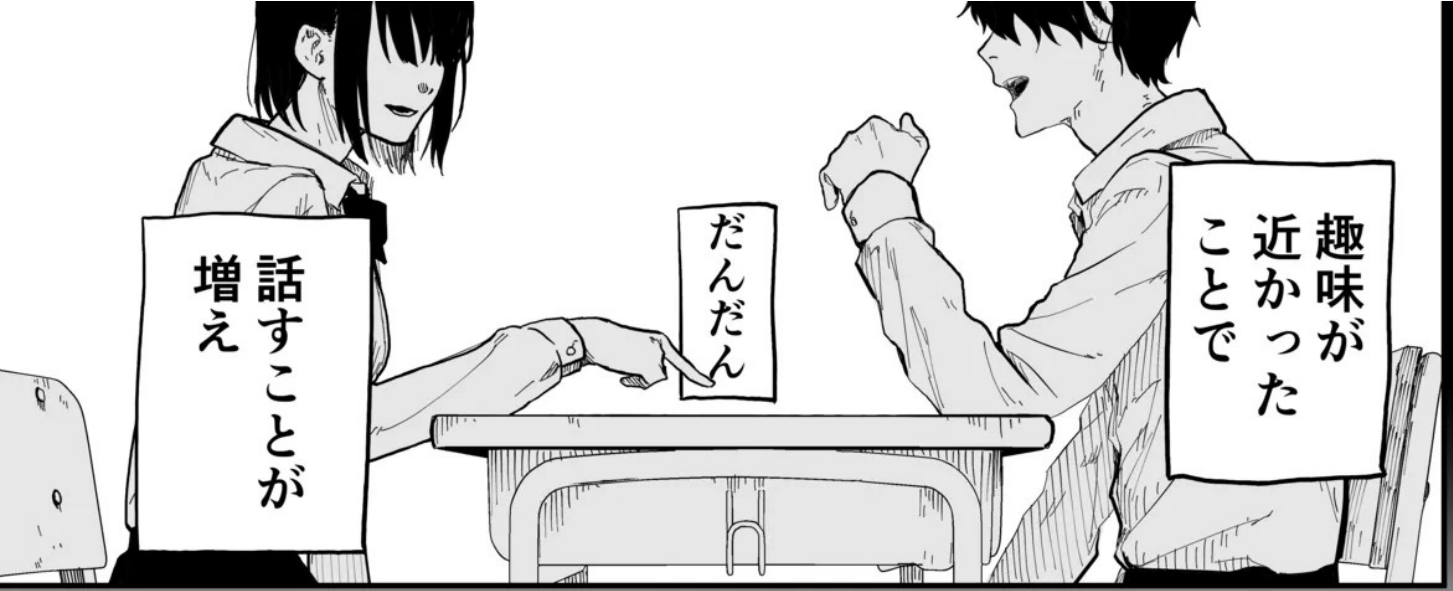
コンプレックス  
を抱いて  
いました

私の家  
通り過ぎてる

え？  
ゴメン

しかし、一人だけ  
喋れる女の子が  
いました





趣味が  
近かった  
ことで

だんだん

話すことが  
増え



放課後  
宮田さんの

家に行つては  
だらだらと

漫画を  
読むように  
なりました

その子は

宮田さん(仮)  
と言います

どう  
した

4月

僕が教室で  
1人ラノベを  
読んでいたら

話しかけて  
くれました

それから





それでも

私の  
コンプレックス  
がなくなら  
なかったのは



宮田さん  
のことを

異性として

意識したこと  
がなかった  
からです



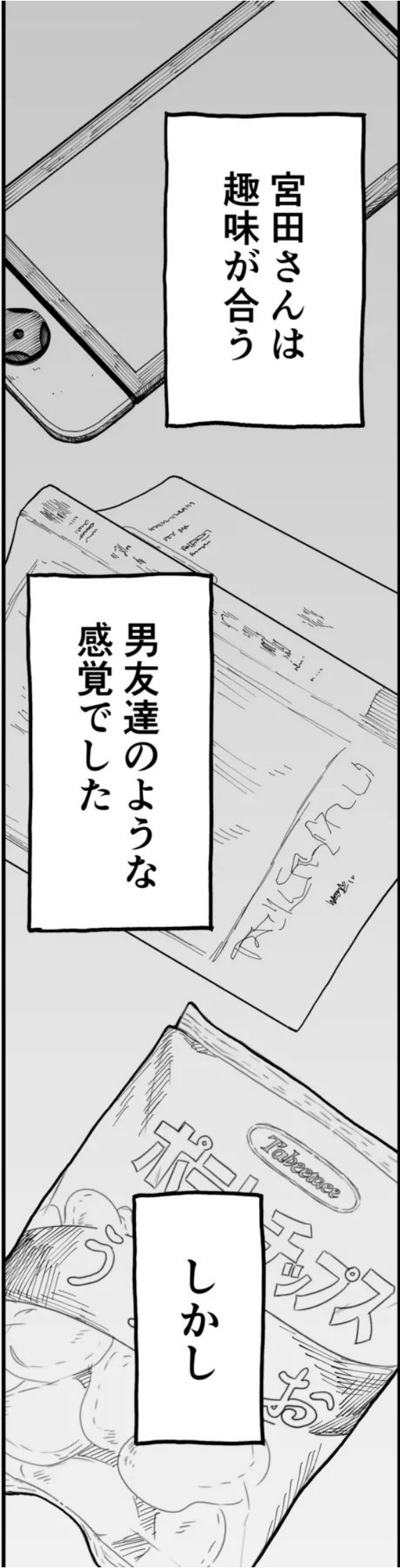
当時の私にとって  
異性とは

自分とは違う生き物で  
理解不能な存在

という  
イメージでした



7月の終業式の日  
その認識に変化が  
訪れました

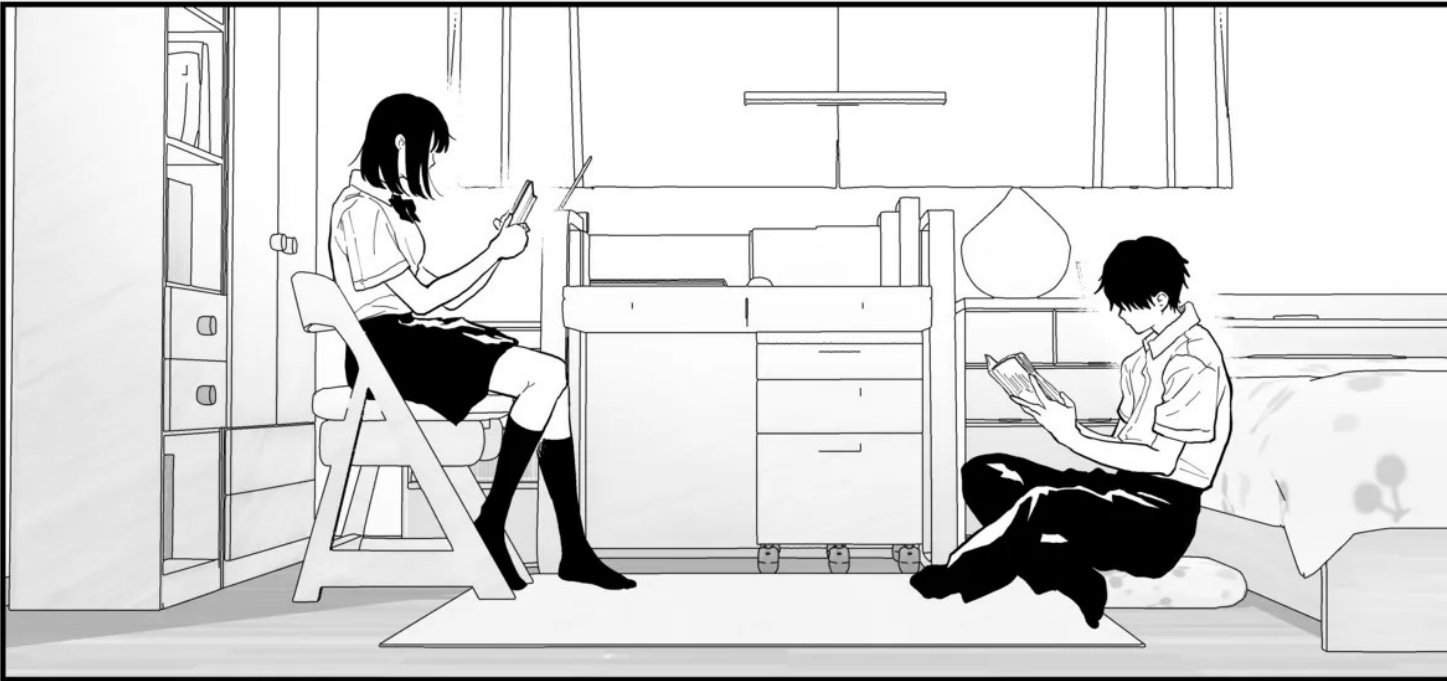


宮田さんは  
趣味が合う

男友達のような  
感覚でした

しかし

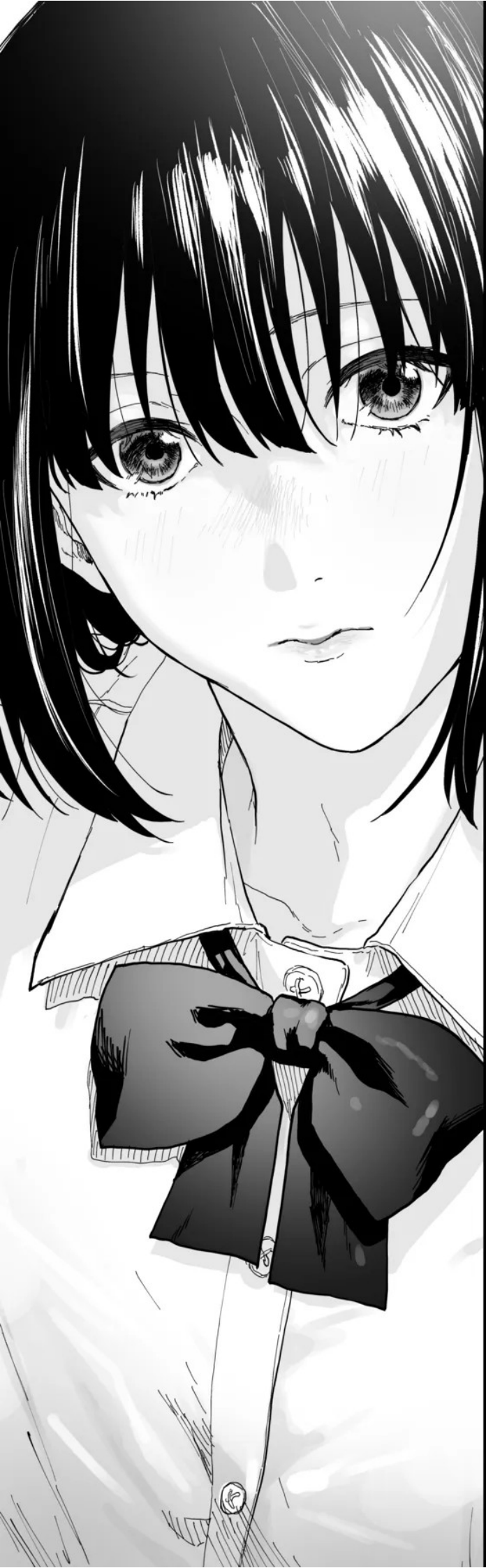
その日も  
彼女の部屋で  
漫画を読ん  
で  
いました



うわー  
エロッ

ラブコメは  
やっぱハーレム  
だよな

…  
ねえ



佐藤は普段  
どういふので  
抜いてるの？



は？





ふーん

ふ

普通に…  
今期アニメで  
流行ってる  
やつとか…

二次創作  
検索したり



それ



みしてよ



引かないよ

ええ  
引くなよ

え…



これとか…

あと？

あとは？

こういう…



でしょ？

知ってる  
キャラでは  
逆に抜けない  
タイプ




ま  
ま  
まあ…



胸が

当たって  
いました



シャンプールと  
制汗剤

少し汗の  
混じった  
いい匂いがして

私は次のように  
思いました

それと

「俺とは違う…」



「あ」

「まづら」



そう思った  
ときには

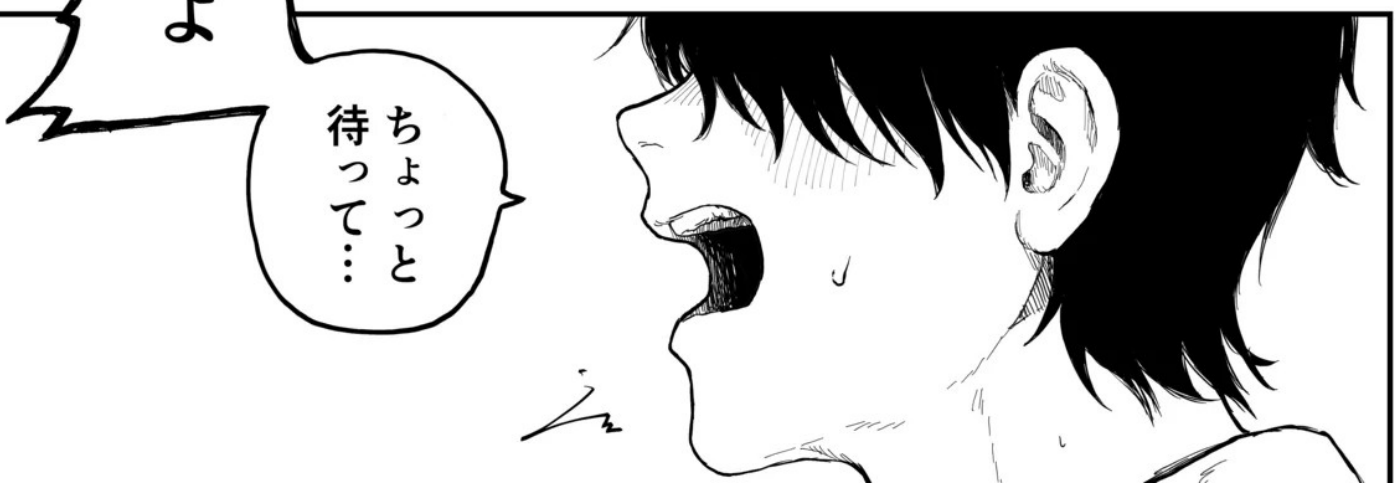
勃起して  
いました

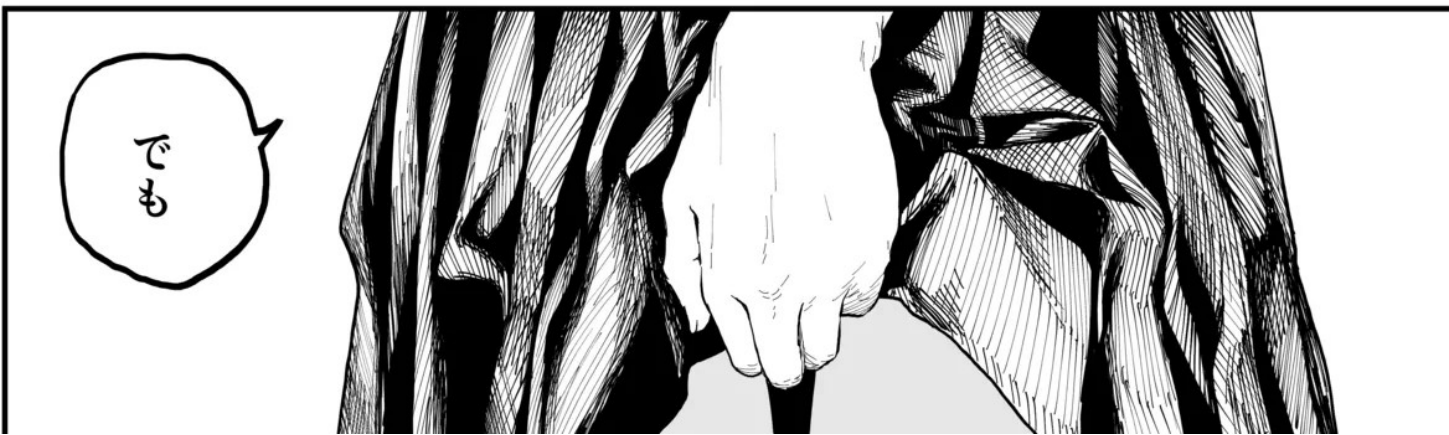


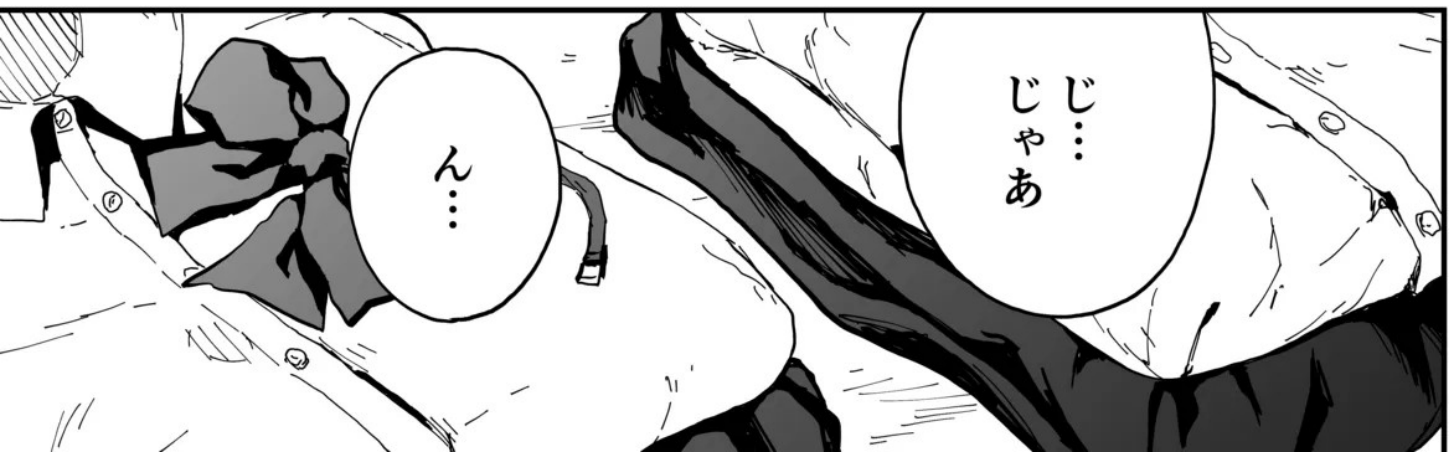
いーよ  
んんんんめ

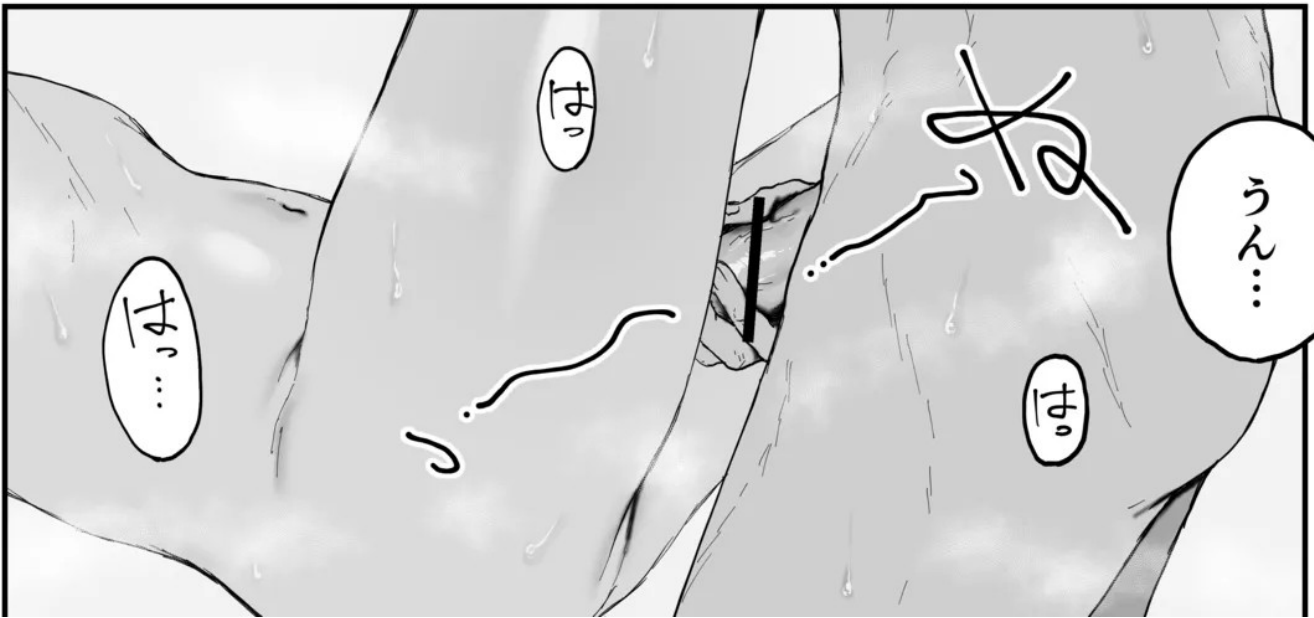
今日 家  
誰も いない  
から





















中に...



大丈夫な日だから

...



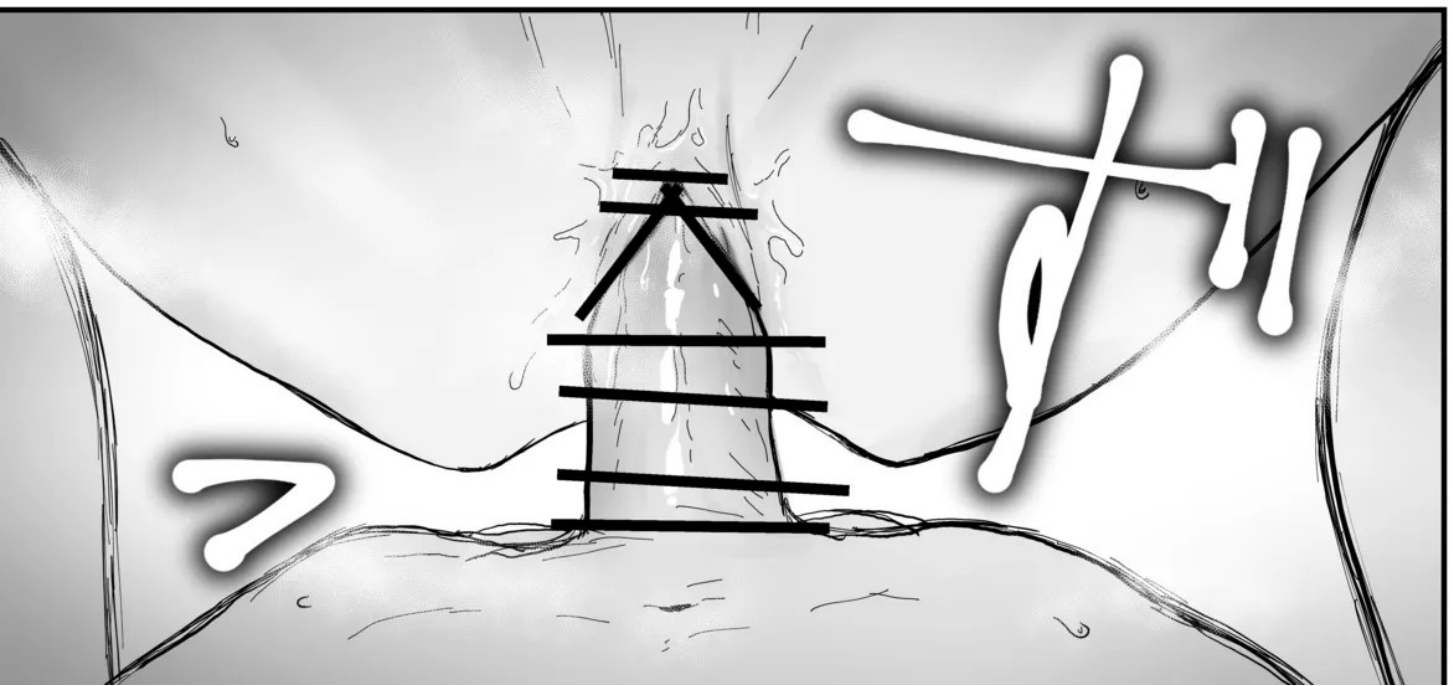
他なんて...

...ま他の人とする時はちゃんとしなよ







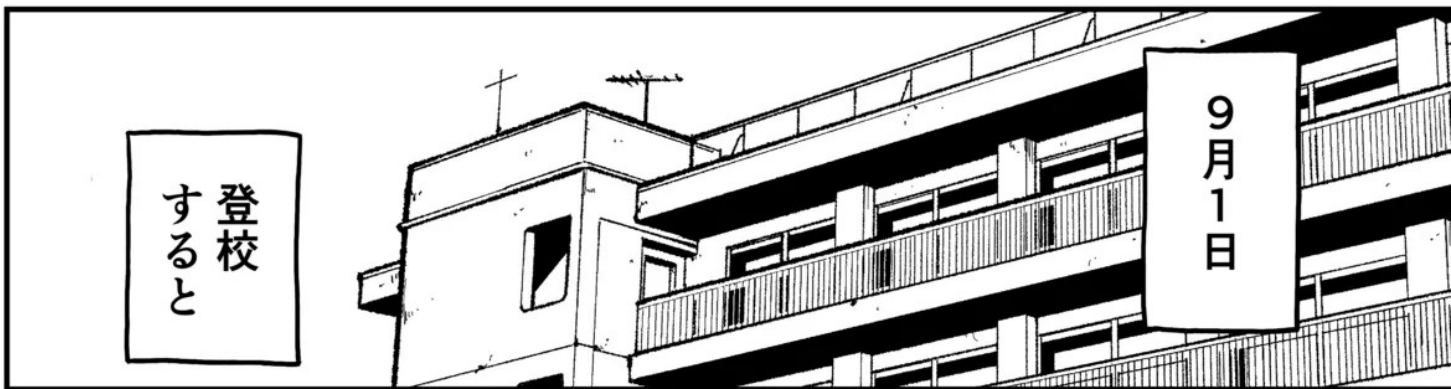








その日が  
宮田さんと会った  
最後の日でした



登校  
する

9月1日



宮田さんは  
転校して  
いました

連絡先くらい  
聞いておけばよかった

入道雲を見ると  
今でもそう思っ  
て  
しまいます



おまけ 私服

冬

夏



あとがき

ご購入いただきありがとうございます。

Twitterで同人誌描いたら売れると言われたので描きました。絵の練習にもなって一石二鳥かも…と。しかしそのせいで描き方が定まらず絵柄があまりにも不安定になってしまいました。

話は、最近モキュメンタリー風の映画やドラマが流行っているので、そういうのを漫画でやったら面白いのではないかと思いこのような形になったのですが、面白さや実用性には全く繋がっていない気がします。

また、描けば描くほどに人体(骨格、筋肉、脂肪、それらの性差)への解像度の荒さを認めることになり、不甲斐ないです。

描き始めたツイートしてから完成まで半年以上かかってしまい、その点も申し訳なかったです。

拙作にお金を出してくださった方には頭が上がりません。本当にありがとうございました。

散文的マジョリティ  
X(旧Twitter)ID→@sanbun\_majo

